



## 女性活躍推進委員会

# On・nada 調査隊

女性活躍推進委員会のドバシです。2月1日、高松市でJR連合の女性役員意見交換会が開催され、全国から19人の女性役員が集まりました。JR九州労組からは5人が参加しました。今年は初めてJRグループ労組連絡会からも女性役員の方が参加してくれましたよ。



お疲れ様でした。写真を見るととても盛り上がっているように見えるね！どんなテーマで意見交換をしたの？

テーマは「女性役員を増やしていく上での課題やその解決方法」と「JR連合に求めること」だったのですが、テーマの枠にとらわれない意見交換が出来ました。特に夜勤（泊まり勤務）の話題が盛り上がりました。



意見交換会の様子

現在のJRの働き方の中では夜勤や泊り勤務はどうしても切り離せないから、育児や介護なども含め各々の生活と両立させていくために、他の企業にはない働き方の工夫が必要だね。



会場では色々な意見が飛び交いました

各々の生活スタイルと夜勤を両立させるためには、短日数制の導入など働き続けられる制度も必要だし、JRの事業内容を理解してくれるような保育所があることも大事。更に私たちの意識改革も必要だという話も出ました。家事や育児、介護を自分以外の外部に頼むことは「手抜きではない」という考え方に社会が変わっていくことも両立支援の一步ですね。



女性役員を増やしていく課題についてはどんな意見が出たのかな？

この数年間で女性役員も少しずつ増えてきけれど、あとはこれを定着させていかなければいけないから、そこが課題だね。

「今の年齢になったからこそ組合役員の意義を感じられる」という声がありました。声を掛けられれば役員をやっても良いという方も多いと聞き、やはり声掛けは大事

だなと思いました。また、「誰でもいいから女性で役員をやってくれと言われても納得できない。女性が必要じゃなくてあなたが〇〇だから、あなたが必要と言われてないと頑張ろうという気にならない」という声がありました。これは男性でも一緒ですね。みんなで気をつけたいですね。



当日の参加メンバー